

# おたる 西別院だより

## 報 恩 講 号



修復された親鸞聖人御影像と厨子(本堂の右脇壇)

**小樽別院報恩講法要は10月12日(水)より16日(日)まで**

説教所・教化団体

**報 恩 講**

9月29日(木)

10月21日(金)～22日(土)

11月5日(土)～6日(日)

12月中旬

12月19日(月)

仏教婦人会

新光説教所

奥沢説教所

仏教壮年会

十九日講

**10月12日(水)より17日(月)まで月忌参詣をお休みさせていただきます。**

**ご門主様ご親修**

**本堂修復落成慶講法要**  
親鸞聖人750回大遠忌御待受法要(仮称)

**平成18年10月10日(火)**

# おかげさま



滋賀県草津市西念寺  
本願寺派布教使

中神 章生

「おかげさま」っていえる時の自分は、何か前向きに生きている感じがします。愚痴を言っているときの自分は、どんどん落ち込んでいく感じがします。「ありがたいなあ」って感謝できるときは感動に満ちています。

人が、生きる意味を見いだしたり、

喜びを見いだすときって、感謝という世界に目が向いているときだとつくづく思います。

生きていると嫌なことやつらいことがたくさんあります。そんなときには感謝なんて言う気持ちはなかなか出てきません。そんなとき私は、仏様の前に座ります。

「生きてるってつらいことだよね。だからあなたを絶対に捨てないよ。」といってくださいる阿弥陀様のお慈悲にふれます。すると、嫌なことやつらいことの中から、何かが見えてく

る気持ちがあります。ふと、光が差し込んでくる感じがします。「あーありがたいなあ」ってそんな感じがじわーっとわき上がってきます。楽しいこともつらいことも阿弥陀様のお慈悲に包まれて、「おかげさま」の気持ちに変えてもらえます。

私は、こんなすばらしい世界を伝えてくださった親鸞聖人にここから「おかげさまで」と申し上げたいのです。

報恩講という法要のご縁で、阿弥陀様のお慈悲を感じさせていただきながら、親鸞聖人に「ありがとうございます。ございます。」とお礼を申し上げることが、私の人生の感動の場面の一つです。

# 報恩講について



浄土真宗をお開き下さった親鸞聖人は、弘長二年（一二二二年）旧暦十一月二十八日京都で九十歳のご生涯を終えられました。

本願寺の三代目の覚如（かくによ）上人が親鸞聖人のお徳を讃え報恩講式を著述されたのを機に、報恩講の行事が各寺院で行われるようになりました。

明治に入り本願寺派では新暦にあわせ聖人の御命日を一月十六日に決めました。ご本山（西本願寺）では毎年、一月九日から十六日まで七昼夜おつとめされます。これを「御正忌報恩講」といいます。

このときは御本山にお参りするのために、各地のお寺では本山に先だつて、年内に報恩講をとめる慣習があります。これを「お取り越し」とか「お引き上げ」といいます。

小樽別院では、十月十二日より十六日まで、報恩講をおつとめさせていただいておりますので、是非ともご参拝下さいますようにお願い申し上げます。尚、十五日は、おとき（食事）をご用意しております。



## ◆宗祖親鸞聖人報恩講法要日程表◆

★本堂

期 日	時 間	法 要 ・ 行 事	布 教（法話）
十二日（水）	十時三十分 十三時三十分	○三園合同参拝 ○速夜法要 ○晨朝（正信偈行譜六首引） 和讃「三朝浄土」	布教一席 中神師 布教一席 中神師
十三日（木）	九時 十時 十三時三十分 十八時	○双葉高校参拝（3学年） ○日中法要 ○速夜法要 御伝鈔上巻拝読 ○初夜法要 祖徳讃仰	布教一席 中神師 布教一席 中神師 崇敬法中（三十分） 布教一席 中神師
十四日（金）	六時三十分 十時 十三時三十分 十八時	○晨朝（正信偈行譜六首引） 和讃「五十六億」 ○日中法要 ○速夜法要 御伝鈔下巻拝読 ○初夜法要 祖徳讃仰	崇敬法中（三十分） 布教一席 中神師 布教一席 中神師 布教一席 中神師
十五日（土）	十八時 十三時三十分 十二時 十時	○後夜法要（讚仏偈） ○晨朝（正信偈行譜六首引） 和讃「弥陀成仏」 ○満日中法要 代表焼香・御礼言上 ○物故者追悼法要 ○初夜法要 祖徳讃仰 御俗姓拝読	布教一席 中神師 崇敬法中（三十分） 布教一席 中神師 布教一席 中神師
十六日（日）	六時三十分 十時	○晨朝（正信偈行譜六首引） 和讃「弥陀成仏」 ○満日中法要 代表焼香・御礼言上	布教一席 中神師 布教一席 中神師

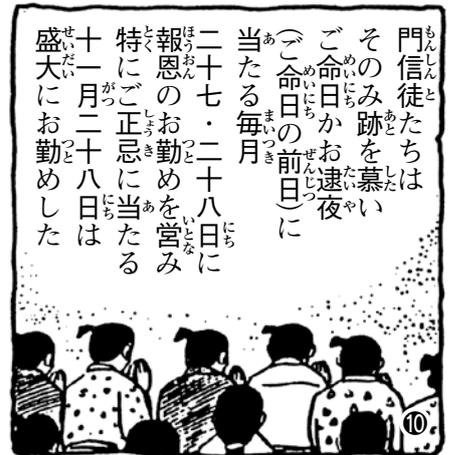
講師／浄土真宗本願寺派布教使

中神 章生 師



4





# 落慶法要きまる

平成十四年から五ヶ年計画ではじまった親鸞聖人七百五十回大遠忌記念事業は、本堂・鐘楼堂の修復が終わり、納骨堂・境内地の改修も現在八割が完成し、その落慶法要の日程がきまりました。

## ご門主様ご親修 平成十八年十月十日(火)

本願寺小樽別院本堂・鐘楼堂

平成大修復にあたり、本願寺ご

門主様ご親修によります「本堂

修復落成慶讃法要」並びに「親鸞

聖人七百五十回大遠忌御待受法

要(仮称)を平成十八年十月十日

(火)に修行いたします。つきま

しては百年の大計でありますこ

のご法要に一人でも多くの方に

ご参拝いただきたく、準備を進

めています。

なお、おかみそり等の詳しい日程については決まり次第、改めてお知らせいたします。

### 本堂修復懇志

#### 新規進納者御芳名

(平成十七年六月一日〜七月三十一日)

#### ●門信徒懇志

金八拾萬円

河合 弘

金六拾萬円

斉藤 芳子

金五拾萬円

鈴木 計一

金四拾萬円

脇本 博子

佐野 正治

米脇 政彦

瀧田 隆一

#### ●崇敬寺院懇志

金式拾萬円

西隆寺(後志組)

#### ●協賛懇志

金式萬円

不二川公勝(京都府)

金壹萬円

長久寺(大分県)

(敬称略)

ご進納有難うございました。

ルンを誇って65年



# おたる 隆壽司

- 本店 / 小樽市花園1-1-1 ☎(0134)23-0011
- 運河店 / ☎(0134)22-0011
- 運河茶屋 / ☎(0134)27-1000
- キロ口店 / ☎(0135)34-7890
- すすきの店 / ☎(011)511-0440
- さかなやおさない / ☎(0134)34-2929

全日本葬祭業協同組合連合会北海道葬祭業協同組合会員  
社団法人全国霊柩自動車協会北海道支部連合会札幌支部

安心と信頼 **if** 共済会取扱店

**24時間営業**

# 小樽典礼株式会社

小樽市稲穂3丁目4番1号

TEL (代) 27-1801・FAX 27-1804



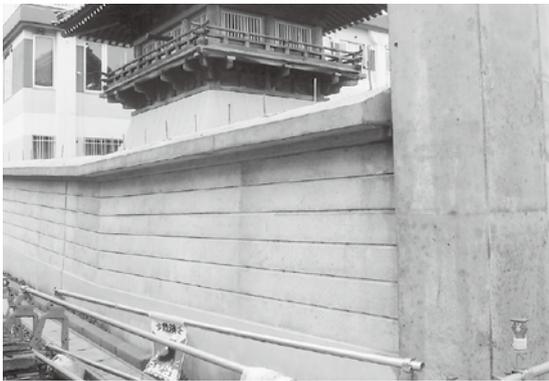
# ご本堂御修復通信



## 境内地整備工事（第2期工事）



### 正門門柱と塀



●塀には瓦が葺かれます



●報恩講にむけ進められる境内地整備工事



●幼稚園側も整備され芝生が敷かれます



●きれいに化粧直しされた納骨堂外壁

# 一目研修旅行 楽しく実施

例年実施している別院門徒の一日研修旅行は、去る七月十八日、六十五人の参加者が、北の紫陽花寺として有名な明善寺の参拝と、サクランボ狩りなどで楽しみました。

## アジサイ寺にて

荒井 義光

今回は一日研修旅行で初めてお寺を参拝しました。明善寺ご住職の、寺の維持に大変苦勞されたお話、心のこもったご法話に涙ぐむ思ひがしました。世の中のきびし



ご挨拶される住職



あじさいをバックに

い世相と重ね合せて誠に感無量の思ひでした。又、家族総出のご接待、西瓜の御馳走、帰りにはご家族皆で手を振って見送られ、本当に有難く思ひました。おかげ様で、楽しい一日を過ごさせていただきました。

戦後六十年

## 決意新たに

七月二日、公開講座「戦後六十年平和を願う集い」を小樽別院本堂にて開催。門信徒をはじめ、宗門関係学校の生徒など約二百人が集い、非戦・平和への決意を新たにしました。

全戦没者追悼法要では、輪番導師のもと別院僧侶全員が出勤し参拝者と共に阿弥陀経のおつとめをいたしました。続いてビデオ放映のあと、第二次世界大



仁木町でのサクランボ狩り



戦の沖縄戦で、負傷兵の看護のため動員され、多くの犠牲者を出した「ひめゆり学徒隊」の少ない生存者で、ひめゆり平和祈念資料館証言員の宮城喜久子さん(76)が講演。宮城さんは戦場での悲惨な体験を切々と話し、「武器は平和をもたらさない。平和のためには時間がどんなにかかっても対話が必要」と訴え、このことを後世に伝えるのが私達の役目と語った。

# 毎朝の法要・参拝

別院では毎朝六時半より朝の勤行として晨朝法要がおつとめされている。特に五月一日から八月八日まで「晨朝百日参拝」として多くの門信徒が参拝し、ご法義を深めている。

今年は十九名が皆勤賞、二名が精勤賞であった。お二人にその感想を聞いた。

## 百日参拝して

本間 静枝

立派に修復されたお寺で、すがすがしい空気の中、朝の静けさも手伝って喚鐘の響きと共に、ご輪番の調声で始まる勤行「正信念仏偈」身も心も引き締め、阿弥陀さ

まに願われた温かな安心感を頂けて、ほんとうに有り難いこととございます。

この度、阿弥陀さまの呼んで下さる声に導かれ、百日参拝を続けることの出来た仏縁に感謝いっぱいです。

お蔭さまで阿弥陀さま中心の生活、有り難いみ教えを心の依りどころとして阿弥陀さまの智慧の光明に照らされ、包まれ、沢山のエネルギーを頂き、そして気付かされる事の多さ、守られづくめの私、なんと幸せ者でしょう。どうぞご門徒の皆さん、是非是非お寺へお参り下さい。

まず阿弥陀さまに遇われて下さい。親鸞聖人のみ教えを、少しでも早く聞かせて頂き、お念仏を喜ぶ生活を送らせていただきましょう。

## おあきじ

荒木 美津子

おあさじの御縁を最初にいただいた日は、平成六年二月九日でした。わけもわからずただ感動したのをおぼえています。次の日からお詣りしている皆さんの作法を見て真似しました。お念珠だけでお詣りしていたら式章（名前はあとで知りました）と式章を入れる袋や聖典を「これ使いなさい」と持たせてくれました。自分で用意したのは正信偈和讃本だけでした。大きなむねに顔をうずめて何度も泣

かせてもらった朋友もお浄土に生まれさせていただいております。

いくらお詣りしたいと願っても出来なくなる時が必ずくる事を心にとめて、唯今唯今、今が大事です。朝、目がさめてお寺に詣れる嬉しさお聴聞させていただけ嬉しさ

本堂に座らせていただけ嬉しさ一日の始まりが、おあさじです。

おかげさまで仕事を持っている私には、おあさじの時間が尊い時間です。おかげでたくさんのお友と出遇い、お寺の行事に参加させていただき御縁をいただきました。

おかみそりの御縁もいただきました。もったいないありがたいこととございます。これからもお寺にお詣り出来る事を感謝して日々精進いたします。

# 本山で電話相談スタート み教え、心の悩みにとたえる

## 教学伝道研究センターが窓口

### ☎075 (371) 5024

み教え…研究員など対応=月～金曜  
心の悩み…龍谷大とタイアップ=水曜

混沌とした時代を生きる現

代人の多様な悩みや苦しみに  
応えるため、宗門では教学伝  
道研究センター（上山大峻セ  
ンター所長）が担当して、『い  
のちと念仏』相談センター」を  
新たに設置。電話による相談を  
七月十三日から始めた。

同センターでは、従来から教  
学や仏事に対しての相談には  
応じており、昨年度は五百十三  
件の相談に応じた。これを拡大  
する形で専用回線を設置して  
「み教えに関する相談（教学相

談）」と「このころの悩みに関す  
る相談」を行うことになった。

電話で対応するのは同セン  
ターの教学伝道研究所（森田真  
円所長）で、「教学相談」は同  
センターの研究員など十人が  
電話で受け付けた内容を手紙  
やファクスで回答する。

「このころの悩み…」は、龍谷  
大学「大人と子どものこのころの  
クリニック」とタイアップし  
て、親子問題など心の問題を同  
クリニック所長で龍谷大学教  
授の友久久雄氏や専門知識を

有したカウンセラーが対応す  
る、電話相談の範ちゆうを超え  
る場合や相談者から希望があ  
れば、専門の病院や関係機関を  
紹介する。

受付時間は、「教学相談」が  
月曜から金曜までの毎日（土・  
日・祝日及び年末年始は休む  
が、宗務所が休日廃止日は開  
く）午前九時から午後五時ま  
で。

「このころの悩み…」は毎週水  
曜日（祝日の場合は休む）午後  
零時半から四時まで。相談費用  
は無料。

相談電話番号は

**075(371)5024**

（ボタン操作の都合で電話機は  
プッシュ回線をご利用下さい）

有難うございました

### 御懇志寄進者御芳名

金参拾萬円 金式拾萬円

高橋ミサヲ 猪田 格一

(敬称略)

### 物品寄贈者御芳名

傘立五セット

高島 岩雄 (敬称略)

## 二〇〇五年(平成十七年)年忌表

- 一周忌 — 平成十六年
- 三回忌 — 平成十五年
- 七回忌 — 平成十二年
- 十三回忌 — 平成五年
- 十七回忌 — 平成元年  
昭和六十四年
- 二十五回忌 — 昭和五十六年
- 三十三回忌 — 昭和四十八年
- 五十回忌 — 昭和三十一年

3分間の心のともしび

## 小樽別院 テレホン法話

24時間いつでもどうぞ

# TEL 27-1616



### 職員退職のお知らせ



相馬 早苗

この度、六

月三十日をも

ちまして退職いたしました。在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。

皆様の暖かいお力添えにより、九年間お勤めする事ができました。

今後も皆様から教えていただいた事を忘れずに、何事にもがんばりたいと思います。



## 一緒に参拝

昨年四月、各ご家庭に赤い勤行聖典をお配りしました。月忌参詣の際にご一緒に参拝しておつとめたいましよう。



### 編集後記

皆様によるこんでいただける紙面を目指しております。

次号は新年号として十二月にお届け致します。ご意見や、ご感想をお寄せください。

# みんな 小樽幼稚園 仲良し



～まこと(いのち)の保育を行ないます～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」などを育てるよう保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

現在も途中入園を受付しております。

(年中見学可能です。是非一度見学にお越し下さい。)

- ☆ **保育時間** → 月曜日～金曜日(8:30～14:00 / 冬時間<11月～>8:30～13:30)
- ☆ **昼食** → お弁当～週3回 / 給食～週2回(パン食 / 米食)
- ☆ **預り保育** → 月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:00迄は無料 / 降園バス有)
- ☆ **プール遊び** → 年間を通して、週1回温水プール遊びを行っています。
- ☆ **英会話** → 月2回年長のみ行います。
- ☆ **送迎バス** → ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆ **主な行事** → 花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。
- ☆ **ならし保育** → 満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、火曜日クラスと木曜日クラス(毎週各1回)保育します。  
(いちご組)

※詳しくは、入園案内をごらん下さい。

## 園児募集

途中入園可能

募集園児 3歳児(H13.4.2～H14.4.1生まれ)  
 4歳児(H12.4.2～H13.4.1生まれ)  
 5歳児(H11.4.2～H12.4.1生まれ)

願書受付 途中入園受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

# 小樽幼稚園 TEL/FAX 0134-22-6536